

2016年2月期 第1四半期 (2015年3月1日～2015年5月31日)

決算説明資料



2015年7月14日

 東宝株式会社

阪急阪神東宝グループ

第127期 第1四半期 営業概況

	2015年2月期 (2014年3月～2014年5月)	2016年2月期 (2015年3月～2015年5月)	前年同四半期比	増減率
営業収入	569億9千7百万円	572億5千1百万円	2億5千3百万円	0.4% 
営業利益	106億7千7百万円	111億4千6百万円	4億6千8百万円	4.4% 
経常利益	107億9千8百万円	118億4千7百万円	10億4千9百万円	9.7% 
四半期純利益	85億2千5百万円	74億3千7百万円	△10億8千7百万円	12.8% 

【第1四半期の営業概況】

主力の映画事業のうち映画営業事業において、定番のアニメ作品をはじめ、当社配給各作品が高稼働したことにより全体の業績を牽引。演劇事業では「Endless SHOCK 15th Anniversary」「レ・ミゼラブル」といった話題作が盛況、不動産事業においては新規開業の「新宿東宝ビル」が貢献したことなどから、前年同期比では増収増益となった。

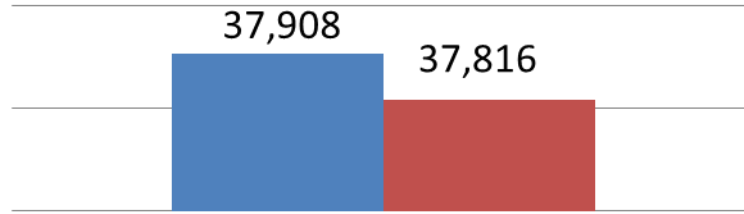
なお、第1四半期決算としては過去最高の「営業利益」を達成。

セグメント別業績一覧

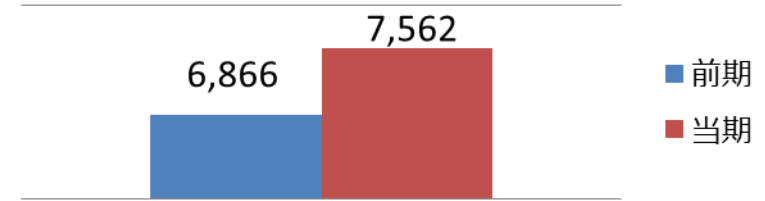
	営業収入 (単位：百万円)			営業利益 (単位：百万円)		
	2015年2月期 1Q (3~5月)	2016年2月期 1Q (3~5月)	増減率(%)	2015年2月期 1Q (3~5月)	2016年2月期 1Q (3~5月)	増減率(%)
①映画事業	37,908	37,816	0.2% ↓	6,866	7,562	10.1% ↑
映画営業	11,246	13,158	17.0% ↑	2,742	3,921	43.0% ↑
映画興行	19,848	18,265	8.0% ↓	3,255	2,479	23.8% ↓
映像事業	6,813	6,392	6.2% ↓	869	1,162	33.7% ↑
②演劇事業	3,046	3,118	2.4% ↑	717	654	8.8% ↓
③不動産事業	15,785	16,064	1.8% ↑	3,996	3,734	6.5% ↓
不動産賃貸	7,302	8,183	12.1% ↑	2,711	2,752	1.5% ↑
道路事業	6,303	5,284	16.2% ↓	1,091	723	33.7% ↓
不動産保守・管理	2,179	2,596	19.1% ↑	193	258	33.9% ↑
④その他事業	256	251	1.9% ↓	24	14	42.6% ↓

セグメント別業績【映画事業】

営業収入



営業利益



(単位：百万円)

業績分析（増減要因）

- 『名探偵コナン 業火の向日葵』がシリーズ最高成績となる興行収入44.4億円を記録し、また第23作目となる『映画クレヨンしんちゃん オラの引越し物語～サボテン大襲撃～』も第1作目(1993年公開：興行収入22.2億円)が持つ作品記録を更新する興行収入22.5億円を記録するなど定番のアニメ作品が高稼働。(※興行成績は7月5日時点)
- 『暗殺教室』(興行収入27.5億円)・『ビリギャル』(興行収入27.4億円)・『ストロボ・エッジ』(興行収入22.9億円)等、興行収入20億円以上の大ヒットとなる実写作品が高稼働したことにより映画営業事業が増収増益。(※興行成績は7月5日時点)
- 映画興行事業は上記、当社配給作品のほか、『シンデレラ』・『イントゥ・ザ・ウッズ』(共にディズニー)・『ワイルド・スピード SKY MISSION』(東宝東和)等の話題作がヒットしたが、昨年は社会現象を巻き起こしたメガヒット作品『アナと雪の女王』があったため、前年同期比では減収減益。
- 映像事業ではパッケージ事業において『寄生獣』『TOKYO FANTASY SEKAI NO OWARI』等のDVD及びBlu-ray販売が好調に推移し、出版・商品事業では『名探偵コナン 業火の向日葵』等の定番アニメ作品の売上が堅調。アニメ製作事業ではTVアニメ『血界戦線』に製作・出資するなど、映像事業全体では営業収入が微減となったものの、増益の結果に。

映画－第1四半期 稼働作品－

当社配給作品 興行成績ベスト5

※2015年7月5日時点

作 名	公開月	興行収入
『名探偵コナン ^{ごうか ひまわり} 業火の向日葵』	2015年4月	44.4億円
『映画ドラえもん ^{スペースヒーローズ} のび太の宇宙英雄記』	2015年3月	38.9億円
『暗殺教室』	2015年3月	27.5億円
『ビリギャル』	2015年5月	27.4億円
『ストロボ・エッジ』	2015年3月	22.9億円

【参考】前年同期、おもな稼働作品

『神様のカルテ2』『名探偵コナン 異次元の狙撃手』『テルマエ・ロマエⅡ』『悪夢ちゃん The 夢ovie』『WOOD JOB!～神去なあなあ日常～』



©2015 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会



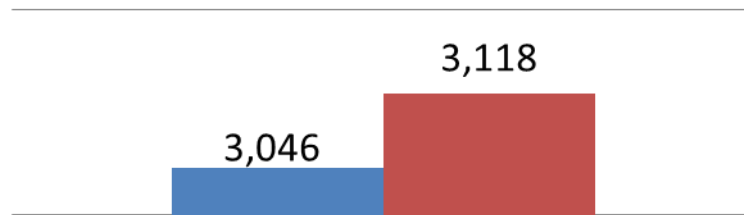
©2015 映画「ビリギャル」製作委員会



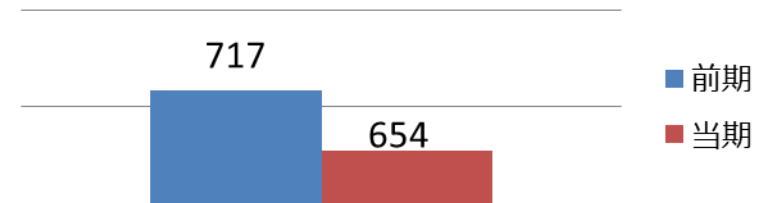
©2015 映画『ストロボ・エッジ』製作委員会
©咲坂伊緒／集英社

セグメント別業績【演劇事業】

営業収入



営業利益



(単位：百万円)

業績分析（増減要因）

■ 帝国劇場では3月『Endless SHOCK 15th Anniversary』が全席完売、4～5月『レ・ミゼラブル』が大入り興行となり、シアタークリエでは3月『クリエ・ミュージカル・コレクションⅡ』、4～5月『ジャニーズ銀座2015』が共に全席完売興行となる等盛況となったが、前年同期公演作品に比して営業原価が増加したため、増収ながら若干の減益に。

※前年同期、主な公演作品

【帝国劇場】 3月 『Endless SHOCK』 4～5月 『レディ・ベス』

【シアタークリエ】 3月 『ダディ・ロング・レッグズ～足ながおじさんより～』 4～5月 『ジャニーズ銀座2014』 (興行は6月4日迄)

【日生劇場】 5月 『ABC座2014 ジャニーズ伝説』

演劇 – 第1四半期 稼働作品 –



The logo features the word "SHOCK" in large, bold, red brush-stroke letters. Above it, "Endless" is written in a smaller, cursive font. Below "SHOCK", "15th Anniversary" is written in a gold, cursive font.

帝国劇場公演
『Endless SHOCK 15th Anniversary』



帝国劇場公演
ミュージカル『レ・ミゼラブル』



シアタークリエ公演
『クリエ・ミュージカル・コレクション II』

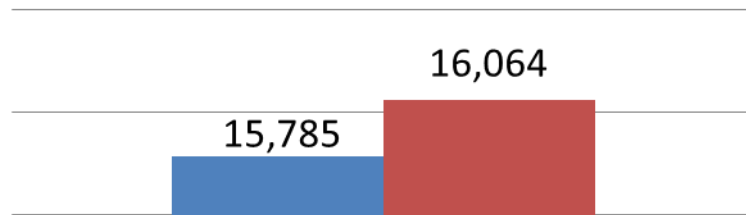


The logo features the text "Johnny's Ginza" in a stylized, outlined font with stars above the 'y' and 's'. Below it, "2015" is written in a large, bold, yellow font.

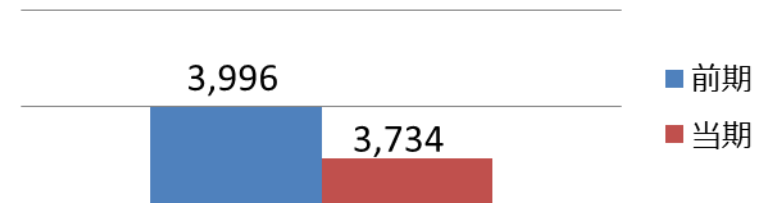
シアタークリエ公演
『ジャニーズ銀座2015』

セグメント別業績【不動産事業】

営業収入



営業利益



(単位：百万円)

業績分析（増減要因）

- 不動産賃貸事業では、「新宿東宝ビル」が2015年4月に開業したことで営業収入の増加に寄与したものの開業に際しての諸経費の発生により営業利益は微増の結果に。
- ステージレンタル事業では東宝スタジオにおいて 映画、テレビドラマ、CM撮影の誘致により順調に稼働。
- 道路事業ではスバル興業(株)が道路の維持・管理、清掃・補修工事の受注等、堅調に推移したものの、前年度に発生した除雪作業の減少などもあり、前年同期比で減収減益。
- 不動産保守・管理事業では東宝ビル管理(株)・(株)東宝サービスセンターにおいて新規受注とコスト削減に取り組んだ結果、増収増益。

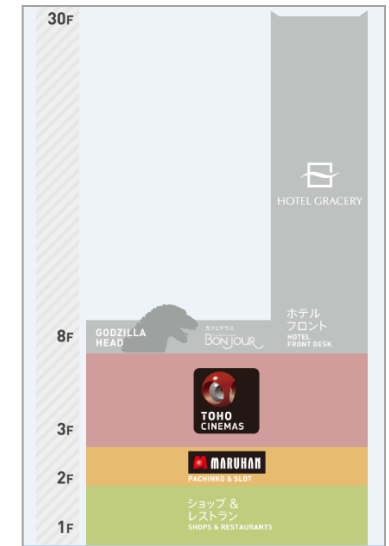
不動産事業 – TOPICS –

2015年4月17日 新宿東宝ビルOPEN

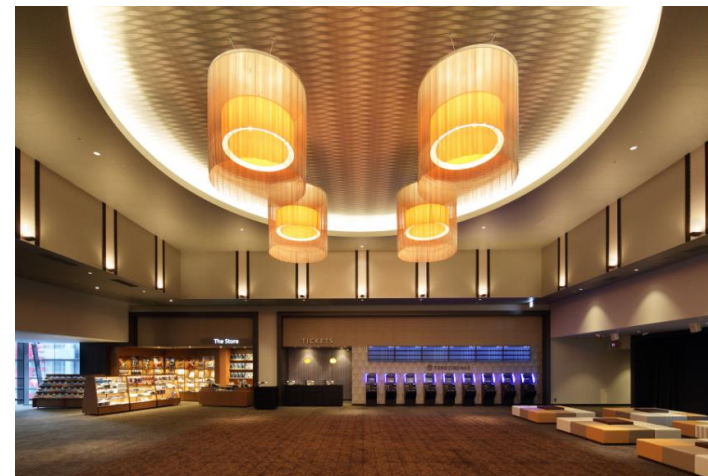
2008年の新宿コマ劇場閉館から6年。
新宿歌舞伎町の新たなランドマークとなる新宿東宝ビルが
華々しくオープン！



2015年4月16日(木) オープニングセレモニー@セントラルロード



TOHOシネマズ新宿
(12スクリーン)



業績予想・配当予想

①2016年（平成28年）2月期 連結業績予想

%表示は、通期は対前期、四半期は前年同四半期増減率

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株あたり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	114,300	5.6	19,000	1.1	20,500	3.9	12,500	△10.3	67.72
通 期	209,700	1.4	32,100	1.1	34,300	0.4	21,100	△6.1	114.32

②配当の状況

	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2015年2月期	—	5.00	—	20.00	25.00
2016年2月期	—	—	—	—	—
2016年2月期（予想）	—	12.50	—	12.50	25.00

本資料におけるご注意

本資料の内容には将来に対する見通しが含まれておりますが実際の業績は様々な状況変化や要因により、見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、保証を与えるものではありませんのでご了承ください。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。



東宝株式会社

本資料に関するお問合せ
総務部 広報・IR室
TEL. 03-3591-1303